

## 事業所における自己評価結果

事業所名 ワクワクひろば泉

公表日 令和8年2月24日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		・対象児によっては積極的に公園や河原に連れ出す。	・外部の遊戯施設などを新たに開拓していきたい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1	・少し職員が多いと感じるときもある、手厚い印象との回答も見られた。なるべく曜日による変動が小さくなるように契約の際気を付けたい。	・長期の休職者、離職者の発生を予測しながら、余裕のある人員の確保に努力していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	2	・視覚的支援に配慮している。	・日々新しい教育器具が開発されているので、積極的に情報収集を図っていきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		・外部の公園や施設の利用でうまく活動できているので今後も継続していきたい。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11		・事務室をクールダウンの部屋にしたり散歩に行くなどして工夫している。	・仕切りなどの工夫も子どもの傾向も分析しながら検討する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		・午前中常勤スタッフが振り返りをし目標設定をしている	・広く参画を目指し連絡簿を整備し個人の意見が言いやすい環境作りに努めていきたい。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			・モニタリングや保護者会等での意見も汲み上げていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	分からないの回答あり、日々の連絡簿の中で意見集約に努めている。 未回答(1)	・スタッフとの面談日を事前に日程調整をしながら継続していきたい。

	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1	未回答(1)	・当面外部理事からの意見を取り入れる努力をしたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		・あったら研修を受けたいとの回答あり、外部研修の案内を積極的に回覧していく。 未回答(1)	・今後も積極的に外部の研修会に参加していく。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			・今後も基準通りに実施していく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		・定期的に保護者児童との面談がなされている。毎月の振り返りをして計画作成に繋げている。	・今後も継続していく。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		・正職員中心でなされている。	・今後も継続していく。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		・常に計画の閲覧ができるようにしている。	・今後も継続していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		・適宜修正したアセスメント表を用いて評価している。 未回答(1)	・今後も継続していく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		・家族支援特に母親支援に配慮している。	・今後も継続していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		・実施している。	・今後も継続していく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		・工夫している。	・これからも固定化しないように工夫していきたい。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		・実施している。	・ほどよい組み合わせができていると思われる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11		・行っている。	・毎朝の確認を今後も継続していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11		・翌日午前中に振り返りを行っている。	・現状のスタイルを継続したい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		・実施している。	・更に長期休みの時の記録の残し方を検討したい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		・行っている。	・今後も継続していく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10		・地域交流活動が難しいが当面多様な子どもたちが集まる集まる屋内施設へ連れ出す機会を増やす。 未回答(1)	・今後も現在のスタイルで継続していくが、4つの基本活動を知らないとの回答有りなので改めて周知を図る。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		・自由遊びでも外遊びも含め自己選択できる機会を設けている。	・モニタリング時での子どもの要望を直接聞き活動に取り入れる工夫を継続する。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			・今後も適任者の参加を継続していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11			・今後も連携を取れる姿勢であることをアピールしていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		・適切に行っている。	・今後も続けていく。

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11		・相談支援事業所を通して資料交換や情報共有を行うとともに、会議への参加を積極的に行っている。	・今後も継続していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	1		・求められれば提供できるように、記録等を整備を続けていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11		・年4回外部講師の巡回指導を受けている	・現在定期的に行っている外部専門家による巡回指導を継続していきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	6	・公園で学童クラブの子たちと一緒に活動する機会を設けている。	・学童クラブとの子ども同士の活動は難しいが今後の検討課題である。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	9	1	・子ども部会に積極的に参加している。 未回答(1)	・積極的に参加したい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		・お迎えの保護者にその日の様子を丁寧に伝えている。	・必要に応じて面談の機会を設けていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	・関連事業所のペアレントトレーニングを勧めている。	・今後も連携を取りながら支援を行いたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	11		・行っている。	・今後も丁寧に実施する。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		・モニタリングの際可能な限り子ども自身にも参加して貰っている。	・年2回意向を聞いて反映させているが、今後も継続していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		・行っている。	・今後も丁寧に実施する。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		・管理者が実施している。	・今後も継続していく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11		・保護者会はしているが兄弟は対象にしていない。	・兄弟については今後の検討課題。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		・体制を整えている。	・今後も継続していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1	・ブログによる発信をしている。法人の会報にも載せている。	・Instagram等最新の手法の活用も検討していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		・している。	・今後も継続していく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		・視覚的支援に配慮している。	・今後も継続していく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	3	・イベントは行っていないが河原での遊びの中で近隣住民と触れあうようになっている。	・今後の検討課題。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11		・実施している。	・今後も継続していく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		・定期的実施している。	・今後も継続していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		・確認している。薬が変わったとき、やめた時のことを保護者から直接伝えられている。	・今後も継続していく。

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		・なされている。	・今後も継続していく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		・マニュアルを作成し周知を図っている。	・今後も継続していく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10		・しているのか分からないの回答があったので、勉強会等で徹底していく。 未回答(1)	・保護者会等でも周知を図っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		・実施している。	・今後も継続していく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			・毎年実施している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		未回答(2)	・実施している。